

宇部支部事業報告

支部長 宇多村順子

活動目標	地域包括ケアにおける看護力の連携と強化
評価と今後の課題	R6.7.20(土)一般会員も参加する形で支部集会を開催した。支部集会後の三職能合同研修会では昨年度に比べて参加者が増加した。いずれも感染対策を徹底し問題なく終えることができた。引き続き感染対策を行い、会員のニーズに沿いながら看護力の強化につながる研修を検討していく。 健康相談・啓発等の事業について、R5年度は商業施設の健康ブースでパンフレット等の配布を行ったが、R6年度は対面での健康啓発事業を検討していく。
事業項目	事業内容
1 看護教育及び学会等学術振興に関する事業(公益事業)	1)一般教育研修 (1)支部教育研修会 R6.6.22「災害時地域や自施設で看護職として備えておくこと」受講者：80人 講師：山口大学地域レジリエンス研究センター防災減災グループ学術研究員
2 看護職の労働環境等の改善及び就業促進による人々の健康及び福祉の増進に関する事業(公益事業)	働き続けられる環境づくり支援 県協会主催事業への協力
3 地域ケアサービスの実施及び促進並びに公衆衛生の普及指導等による人々の健康及び福祉の増進に関する事業(公益事業)	1)看護の日及び看護の心PR事業 (1)各施設で看護の日及び看護週間行事を実施 2)健康相談・啓発等の事業 (1)R6年度は対面式での「まちの保健室」開催準備 R7年1月より楠こもれびの郷で毎月1回開催(今年度3回開催) 3)在宅療養支援に係る看護職の連携推進の強化(小野田支部と合同) 医療圏別訪問看護実践研修検討会 第1回目検討会 R6.6.21 出席者：9人 第2回目検討会 R7.2.28 出席者：5人 協議事項：在宅を知る・実際を見る・新たな学びをテーマに 訪問看護ステーションの活動から、在宅療養の実際と資源の限界等実習を通じて知る。⇒実習先等を検討中
4 会員の福祉及び相互扶助に関する事業(収益等事業)	1)会員への福利厚生等に関する事業 (1)三職能合同研修会 出席者：34人 R6.7.20(土)：「よい睡眠のための環境調整とセルフケア」 講師：独立行政法人国立病院機構 関門医療センター 理学療法士
5 その他本会の目的を達するために必要な事業(公益／収益等／法人)	1)支部役員会 6回開催 2)支部委員会 教育委員会 5回 職能委員会 5回 推薦委員会 1回 3)支部集会R6.7.20(土) 出席者：77人 委任状：1916人 4)その他 (1)看護学校入学式、卒業式出席、看護学校戴帽式祝辞 (2)地域医療構想調整会議 R7.2.3 出席